

岩出山小学校の開校式が行われ、新たな歴史がスタートしました

4月28日、岩出山・西大崎・上野目・池月・真山の5つの小学校が統合し、誕生した新・岩出山小学校で開校式が行われました。全児童413人と保護者、関係者など約600人が出席し、新しい小学校の誕生を祝いました。

校長の大場良行氏は、「5つの地域の伝統と特色を受け継ぎ、夢いっぱい、素敵な学校の歴史をつくっていきましよう」と式辞で述べ、新たな校風と歴史を築いていくことを誓いました。



▲旧5校から一人ずつが登壇し、児童代表として希望の言葉を述べました。



▲伊達家の紋である竹を用いて、5校児童の輪などが描かれた校旗が、教育委員会から渡されました。

作曲いただいた鳴子温泉地域在住の作曲家・大場陽子氏から「校歌の作曲前には、作詞家の白井明大氏と旧5校すべてを見て歩いた。素晴らしい地域の特色を歌い継いでほしい」とお祝いのメッセージをいただきました。校歌斉唱では、会場いっぱい元気な歌声が響きました。

5月20日、アインパルラ浦島で、世界農業遺産推進フォーラムが開催されました。当日は約300人が参加し、4月19日に行われた世界農業遺産認定証授与式の報告とともに、世界農業遺産の認定を受け、今後どのように生かしていくか認識を深めました。



▲大崎耕土の魅力を分かりやすく伝えていただいた上智大学大学院教授 あん・まくどなるど氏。

となる農業地域だ」とお話しをいただきました。また、消費者・生産者・実業者それぞれの立場から、世界農業遺産認定を踏まえた取り組みなどの紹介がありました。今後は、大崎耕土の魅力を生かしたブランド化を進めると同時に、その素晴らしさを次世代に伝える取り組みを行っていききたいなど、力強い意見が出されました。



▶5月20日にお披露目された大崎地域世界農業遺産ロゴマーク

「大崎耕土を守り、育む活動を明るく楽しいものにしよう。大崎耕土に暮らす人も訪れる人も、みんなで未来を作ろう」という思いを込めて制作されました。今後、農産物やさまざまなグッズに活用し、大崎耕土を盛り上げる活動を支えます。

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



三本木発

幼年消防クラブに任命！

5月11日、三本木子育て支援総合施設ひまわり園で、幼年消防クラブ任命式が開催されました。



▲消防火を呼びかける法被を着て、任命書を受け取りました。

幼年消防クラブは、地域や家庭の防火を呼びかけるため、防火に関する知識を学び、啓発活動などを1年を通して行います。

任命式では古川消防署三本木出張所長、大崎市消防団三本木支団長から「火遊びは絶対にしないこと。お出かけする時はお父さん、お母さんに火元の確認をしてもらうよう声掛けすること」などの話があり、最後の「みんなできるかな？」という問いかけに、参加した園児達は大きな声で返

事をしていました。任命式が終わると、園児たちは順番に外に出て、救急車や消防車を見学し、それぞれが見て思ったこと、疑問に感じたことを、消防署の職員に聞いていました。

これから三本木地域の防火に携わる、小さな子どもたちの大きな力に期待しましょう。



▲消防車や救急車を一周見て回り、分からないところ、気になったところは消防職員に質問していました。

古川発

園児200人が見守りコイを放流

5月11日、古川の中心部を流れる緒絶川に、コイ50匹余りが放流されました。青空の下、色とりどりのコイが放流される様子を、幼稚園児約200人が見学し、拍手や歓声を上げながら見守っていました。放流されたコイは、これまでの放流から成長したコイに混じり、元気に緒絶川を泳いでいました。

コイの放流は、市民団体「緒絶川荒川清流化促進協議会」の皆さんが実施しているもので、企業や市の協力を得ながら、川の浄化活動の一環として行っています。

昭和43年から続けられているコイの放流や、年に数回行われている川底の清掃などにより緒絶川の美しさが保たれています。



▲緒絶川の美しい景観に、新しいコイ50匹が仲間入りしました。

26日	24日	20日	18日	17日	12日	10日	9日	2日	1日	2018		
●大崎市中総体(27日まで)	●男女共同参画推進協議会委嘱状交付式	●世界農業遺産推進フォーラム	●大崎市保健推進員委嘱状交付式	●第1回大崎市議会臨時会(18日まで)	●第22回パークゴルフ全国交流大会(さくらカップ)	●三本木春祭り(稚児行列・交通安全パレード)	●古川十日朝市開会	●鳴子放牧場開牧式	●鳴子ダムすだれ放流	●夏の軽装勤務フェスティバル開始(10月31日まで)	●大崎市長初登庁(4期目)	5月の主な出来事



▲今年のスダレ放流は、冬の大雪により例年に比べ水量が多く、迫力ある水しぶきを見せていました。